

# サンガーデン便り

令和2年8月号



## <館内の見どころ>

ブーゲンビレア、プランターの

草花などがきれいに咲いています。イチジク、甘夏、温州ミカン、バンパイユ、柿、バナナ（温室）などの果実を観察できます。

## <園芸講座・展示会について>

新型コロナウイルス感染防止のため講座や展示会は中止しております。

## <8月の園芸作業>

7月が日照不足・多湿であったので、草花や野菜・果樹に病気が発生し、今後も広がると思われます。花ガラ摘み・切り戻し・剪定などを行い、風通しを良くして病害の軽減に努めましょう。

**☆家庭菜園** イチゴは去年秋または今春定植した新しい株なら、ランナーから苗がつくれます。ランナーが見えてきたら、土を詰めた3号ポットを用意し、U字に曲げた針金でポットに固定し発根させます。葉が5枚くらいになった元気な苗を8月下旬～9月中旬に定植します。ナスやピーマンは枝先が水平より下ると花芽が付きにくくなるので、整枝と共に枝を上向きに誘引してあげましょう。長期に連続して収穫する野菜は、「なり疲れ」し弱ることがあるので、生育を見ながら追肥してあげましょう。ジャガイモはオオニジュウヤホシテントウの食害や降雨後の疫病に注意しましょう。漬物や貯蔵用のダイコン、ハクサイなどの種まきは8月上旬に済ませます。害虫の食害を防ぐため、播き溝に粒状の殺虫剤を施用するか、不織布を本葉3～4枚頃までかけると良いでしょう。

**☆バラ・草花** 花壇やプランターの草花は、生育とともに草姿が乱れ先端にしか花がつかなくなりますので、思い切って切り戻しを行ってみましょう。花は一時休みますが、肥料や水やりを続けると再び側枝が伸びて花をたくさんつけます。バラは花が終わったら、葉が5枚ある花枝の上で剪定し、追肥をします。地際

苫小牧市サンガーデン

〒053-0011

苫小牧市末広町3丁目1番15号

☎0144-33-4411

から勢いよく伸びた新梢は、全体の長さの半分で切り詰めます。葉に出る黒星病に注意し、病気の葉を見つけたら早急に摘み取り、薬剤防除を行います。

**☆洋ラン** 夏場の高温と日照で株が最も充実する時期です。シンビジウムとデンドロビウム（ノビル系）は徐々に戸外の光に慣らして直射日光下で、これ以外の洋ランは半日陰に置き戸外で育てられます。液肥や置き肥も忘れずに行いましょう。

**☆芝生** 7～10日おきに草丈25～30mmで芝刈りをしましょう。5～9月末にかけて、月に1回、1回当たり窒素成分量で2～4g/m<sup>2</sup>（化成肥料で30～40g/m<sup>2</sup>）を施し、肥やけしないようすぐに散水しておきます。芝生は乾燥しすぎると、水の浸透が悪くなるので、コアリング（穴あけ）作業を行い散水すると良いでしょう。

**☆果樹** リンゴ、プラム、プルーンなどの果樹は、天に向かってまっすぐ伸びる徒長枝の選定を行いましょう。根元から切除するか、2節ほど残し短く剪定し、陽当たりと風通しを良くします。



## <苫小牧の気象>

8月の1ヶ月天気予報では、太平洋側の気温は平年より高い見込みです。日照時間、降水量は平年並みと予報されています。

